

県大生ら企画 森絵都さん講座 来月7日

児童文学の旗手で若い世代から人気の厚い直木賞作家、森絵都さん(47)を招いた「学生の学生による学生のための『森絵都』解剖講座!」が2月7日、高知市永国寺町の県公立大キャンパスで行われる。県立大生らと高知こどもの図書館による実行委員会が企画。学生たちがインタビュする形式で森さんの魅力に迫る。

森さんは1991年に「リズム」で講談社児童文学新人賞、2006年に短編小説集「風に舞いあがるビニールシート」

インタビュー形式 魅力に迫る

で直木賞を受賞した。中学生が主人公の「カラフル」「DIVE!!」など多くが映像化され、悩みながら成長する若者の姿を柔らかなタッチで描く作風などで幅広い支持を得ている。

当初は講演会を考えていたが、森さんから「若者の話が聞きたい」との希望があり、当日は学生数人が壇上に上がり、質問する形で進行する。

「学生の学生による学生のための講座」にするべく同大生と県内の中高生計9人と、こどもの図書館職員らが昨年10月

から打ち合わせを重ねている。

講座では「カラフル」「DIVE!!」と原発事故後の警戒区域にある福島の牧場を舞台にした絵本「希望の牧場」の3冊を取り上げる。ポスターのイラストは県立大2年の近藤はるかさんが、学生が本を前に語り合う場面を明るい色と雰囲気です描いた。

教育研究棟A101教室で午後1時半～3時半。入場料1500円、中高生300円。チケットはこどもの図書館で販売中。

(村瀬佐保)



森絵都さんの講座のポスターを前に笑顔を見せる県立大生ら
(高知市の高知こどもの図書館)